



ユネスコスクール便り

№75

平成31年4月26日
大牟田市Iネットスクール
担当者通信

つながりを大切にし、
かかわりを深める児童生徒の育成

平成31年度が始まり、各学校では新たな体制のもとでユネスコスクールとしての特色ある取組が始まったことと思います。今年度も本通信を通して、ESDに関する様々な情報や各学校の実践事例を発信して参ります。

大牟田市学校教育振興事業計画では、昨年度に引き続き、ESDに関する事業として「おおむた・みらい・ESD推進事業」「人と海と未来をつなぐ海洋教育推進事業」が重点事業として挙げられています。今年度も、大牟田の子どもたちが持続可能な社会づくりの担い手となることを目指して、ESDの充実、発展に取り組んでいきましょう。

● 本年度の委員と主な行事

本年度のユネスコスクール担当者会委員の先生方と、ESDに関する市内の主な行事について紹介します。

〈平成31年度 ユネスコスクール担当者会〉

会 長：松尾 博之（大正） 担当校長：坂本 智典（吉野） 坂本 美也子（白光）
担当教頭：小宮 武士（明治） 川崎 由美子（大正） 杉野 浩二（宮原）
部 長：下地 徹（みなと） 副部長：葉玉 稔大（松原）
推進委員：森永 隆二（手鎌） 鳥井 聡（中友） 貞包 亨伸（大正）
中野 征広（宮原） 小林 恵子（甘木）

〈ESDに関する主な行事〉

- ・ 8月22日（木） ユネスコスクール・ESD全国実践交流会 in 大牟田
- ・ 1月11日（土） ユネスコスクール・ESD子どもサミット
- ・ 1月17日（金） 海洋教育子どもサミット

特色ある実践事例の紹介 駛馬小学校

駛馬小学校は、世界文化遺産である宮原坑を子どもたちがガイドする「子どもボランティアガイド」の活動に取り組んでいます。今年で6年目の活動になります。

昨年度3月には、活動の集大成として6年生がイベントを企画し、「はやめっ子フェスタ」を行いました。

フェスタを通して様々な人との関わりが生まれることを目指し、石炭掘り体験コーナーなどを準備して見学者の方々に楽しんでいただきました。



展示物について説明する子どもたち



シャワー坊にも来てもらいました！

活動を通して、子どもたちは「地域の一員として貢献している自分」を実感し、これからも駛馬地域の活動に積極的に参画していこうと思いを高めることができました。

教えて！ 大牟田のESD



今年度、大牟田市に採用された先生方のためにも、ESDについて改めて確認していきましょう。

Q：「ESD」や「ユネスコスクール」について教えてください

「ESD」とは、持続可能な社会づくりの担い手を育む教育のことです。今世界には、環境・人権・平和など様々な課題があります。「ESD」は、これらの課題を自分の問題として捉え、自分なりに考え、身近なところから行動することによって、その課題の解決をめざす学びです。このESDは、新学習指導要領全体において基盤となる理念として組み込まれ、今後すべての学校で実践していくことが求められます。そして、このESDを推進する拠点校が「ユネスコスクール」です。現在、大牟田市市内のすべての市立小・中・特別支援学校では、学校や地域の特色を生かして、世界遺産や地域、環境や福祉等のテーマでESDに取り組み、全国に発信しています。